



かすが たかし  
春日 隆司 議員

# 大切な森林・大地を守る 条例を考えてほしい

町長 必要かどうか課題として取り組みたい

## 地域経営者の責任自覚

**質問** 町長の権限と責任で、責任は担当課にあり、課長にあり、そして副町長、最終的には町長にあるという考え方でしょうか。

**町長** そういう仕組みだと思っております。

**再質問** 松下幸之助さんの言葉を紹介します。「全ては自分一人の責任という自覚こそ、いつの時代の経営者にも欠かせないものである。」町長の「指示から結果まで全て私の責任だ。」との思いがあつて、職員もしっかりと責任を持ってやれると思えます。

## コロナ後の変化対応

**質問** コロナの影響でハイヤーは平日午後5時まで。緊急時などの足が無い。社会変化に合わせた条件整備が必要ではないでしょうか。

**町長** 実態を調査して、支援をしていくことが必要でないかと思えます。

**再質問** 平成27年以降投資(足し算)をして財政が厳しくなり、今、補助金削減な

ど引き算を始めている。足し算、引き算をバランス良くやっていく必要があります。社会変化で移住者も増える。快適住まい事業の要望も多くなる。コロナ対策予算で対応する必要があると思えます。

## 「まるごと未来都市」への挑戦

**質問** 環境モデル都市、未来都市、そしてSDGs未来都市となった。次、国は「まるごと未来都市」を公募しています。国の助成もある。挑戦し続けるということであれば、デジタル化など課題解決のため、SDGsの延長線上で、是非、申請してほしいと思えます。

**町長** 情報収集しながら判断したいと思えます。

## 移住政策の軸足

**質問** 林業関係者の人口と人材が必要以上に減少して

いる。移住政策は、地域を下支えする農林業の担い手確保を最初に掲げる必要があるのではないのでしょうか。

**町長** 汚い、きつい、暗い、休日が無い、給料が安い、様々な条件不備によって、若い人たちがそういう業態、業種に憧れを感じていないというのがあります。

**再質問** 認識が違うと思います。全国的に見ると、林業の担い手を政策として掲げ、新たに新規事業体をつくり人材を受け入れている。魅力を伝え、具体的に行動を起こさなければなりません。

## ふるさと納税の気構え

**再質問** ふるさと納税目標1億円を公言していますが、予算は実績以下(3,100万円)。納税額の一番は森林づくり。その資金で森林を取得する。そして担い手を確保し、新たな森林事業を作るという戦略戦略が必要ではないでしょうか。

**町長** さらに知恵を出して1億円を目指して取り組んでいきたいと思っております。

企業版についてもコロナ収束後、企業へアプローチをしていきたいと考えています。

**再質問** 企業版は5年前から言っています。落ち着いてからではなくて、具体的に形にする気構えと行動が必要ですね。

## 森・大地を守る条例

**質問** 外国資本の水源地取得問題があります。大切な下川の森林、水源地を守る、農地を守るといふ基本的な理念を定める条例を早急に考えていただきたいと思えます。

**町長** そういう条例が必要かどうか課題として取り組んでいきたいと思えます。

## 予算議決前の除雪行為

**質問** 除雪費の予算執行(予算が6,000万円しかないのに8,500万円先に使っていた。)に不適切なものがあったでしょうか。

**副町長** 不適切ではありません。